

ホットケーキがたべたいな！

えのもとえつこ

あるところに、おばあさんと男の子がいました。二人は、鳥小屋でニワトリを飼っていました。おばあさんは、このニワトリが産んだ卵で、おいしいホットケーキを焼くのが上手でした。

ある日、男の子が言いました。
「おばあちゃん！ ホットケーキが食べたいの。焼いてちょうだい」



ところが
おばあさんが
ホット
ケーキを焼
こうとする
と、卵が一
つも残って
いませんで
した。そこ
で、男の子
は卵を取り
に鳥小屋に
行きました。

男の子は鳥小屋の戸を開けました。その時、犬が飛びつき、男の子はしりもちをつきました。ニワトリたちは開いていた戸口から外に出てしまいました。男の子は犬を叱り、ニワトリを小屋にもどすように言いました。でも、犬は言うことを聞きませんでした。

男の子は猫に言いました。
「ぼくは卵を集めようとした。すると犬がぼくに飛びつき、ニワトリは逃げちゃった。でも、犬はニワトリを小屋にもどさなかった。だから犬をひっかいてよ！」
でも、猫は犬をひっかきませんでした。

男の子はラッパのところに行つて言いました。
「ぼくは卵を集めようとした。すると犬がぼくに飛びつき、ニワトリは逃げちゃった。猫が犬をひっかかないから、犬はニワトリを小屋にもどさない。だからラッパくん大きな音で猫をおどかしてよ！」
でも、ラッパは大きな音を出しませんでした。

男の子は椅子のところに行つて言いました。

「ぼくは卵を集めようとした。すると犬がぼくに飛びつき、ニワトリは逃げちゃった。ラッパが猫をおどかさなから、猫は犬をひっかかない。それで犬はニワトリを小屋にもどさない。だから椅子くん、ラッパを脚で踏みつけてよ！」
でも、椅子はラッパを踏みつけませんでした。

男の子は火のところに言いました。
「ぼくは卵を集めようとした。すると犬がぼくに飛びつき、ニワトリは逃げちゃった。椅子がラッパを踏みつけないから、ラッパは猫をおどかさない。猫が犬をひっかかないから、犬はニワトリを小屋にもどさない。だから、椅子を焼いてよ！」
でも、火は椅子を焼きませんでした。

そこで、男の子はジョウロに言いました。
「ぼくは卵を集めようとした。すると犬がぼくに飛びつき、ニワトリは逃げちゃった。火が椅子を焼かないから、椅子はラッパを踏みつけない。ラッパが猫をおどかさなから、猫は犬をひっかかない。それで犬はニワトリを小屋にもどさない。だからジョウロさん、おなかの水で火を消してよ！」
すると、ジョウロが言いました。



「私のおなかのなかは、からっぽだ。まず、水を私のおなかに入れておくれ」
そこで男の子は、ジョウロに水を入れました。すると、ジョウロは火を消そうとし、火は椅子を燃やそうとし、椅子はラッパを踏みつけようとし、ラッパは、大きな音で猫をおどかさうとし、猫は犬をひっかこうとし、犬はニワトリを鳥小屋に追い込みました。
鳥小屋にもどると、ニワトリはさつそく卵を産みました。男の子は卵を集めて、おばあさんのところに持っていきました。おばあさんはこの産みだての卵を使って、ホットケーキを焼いてくれました。それは、こんがりとキツネ色に焼けた、フワフワのとっても美味しいホットケーキでした。

(おしまい)